

北海道開発を取り巻く状況の変化

- 第8期北海道総合開発計画の中間点検(令和3年2月)においては、計画の進行管理に当たり、臨機応変に、かつ時機を逸することなく対応する必要があるとされたところ。
- 計画の中間点検以降、新型コロナウイルス感染症の更なる感染拡大、2050年カーボンニュートラルに向けた国の政策の展開など、北海道開発を取り巻く状況に急速かつ大きな変化が生じている。

第8期北海道総合開発計画

3つの目標と主要施策

- 人が輝く地域社会の形成
- 世界に目を向けた産業の振興
- 強靱で持続可能な国土の形成

計画策定以降における状況の変化

2016.8 北海道豪雨災害 2018.9 北海道胆振東部地震
2020.1 新型コロナウイルス感染症の拡大 等

中間点検(令和3年2月取りまとめ)

【調査審議事項】

- ①第8期計画の施策の点検: 施策の進捗状況を把握
目標の達成状況を評価、課題を明らかにする
- ②2021年度以降の計画の推進方策を検討

【今後の計画推進の基本的考え方】

- 感染症による経済への被害は甚大。感染拡大防止と社会経済活動の両立が必要。
 - 感染症の影響を受けても、「食」と「観光」の強みは失われない。
 - 「新たな日常」を先導する地域を創出する。
- ※数値目標については感染症の影響を分析した上で改めて整理

中間点検以降の状況の変化

- 新型コロナウイルス感染症の更なる感染拡大
経済・社会に対するダメージの深刻化
- 2050年カーボンニュートラル等、国の政策の迅速な展開

我が国及び北海道開発をめぐる潮流の変化

【気候変動と自然災害の激甚化・頻発化】

- 地球温暖化の進行
- カーボンニュートラルに向けた世界、日本の動き
- 自然災害の激甚化・頻発化

【国際環境の変化と資源に係る需要の見通し】

- 世界人口の増加、アジア主要国の経済成長
- グローバル・サプライチェーンの変化
- 世界のエネルギー需要、食料需要、水需要の増加

【人口減少・少子高齢化の加速】

- 若年人口の減少と高齢人口の増加
- 東京一極集中、札幌一極集中

【地域・暮らし等の変化】

- 「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へ
- 地方への関心の高まり、自由な働き方や暮らし方 等

国の課題解決に貢献する北海道の資源・特性

- 2050年カーボンニュートラルに資する豊富な再生可能エネルギー賦存量等
- 地球規模の資源需要の増加の中で我が国の食料安全保障を支える食料供給力
- 恵み豊かな自然に囲まれて心の豊かさにあふれた開放的な暮らし

これからの北海道開発に当たり、中長期も視野に入れつつ、さらに留意すべき視点や方向性